

## ラグナロードがどのハウスに在住しているか？

心理占星術的技法で、大まかにチャートの特徴を掴むと同時に、重要な観点として、ラグナロードがどのハウスに在住して、どんな状態にあるかということは最初に分析すべきところではないかと思います。ラグナロードはその人のチャートそのものを表わしているかのようにそこに本人の人生全般、健康、配偶者運、成功などの象意が詰まっており、ラグナロードがどのハウスに在住しているかを一瞥することで、その人がどのような人物であるかを大きく把握することが可能である。

例えば、ピリーグラハムの場合、ラグナロードの木星は4室に在住しています。これは彼が自分の家とか、拠点、故郷、土地、母親において幸福であることを示しています。4室は喜びのハウスであり、彼は自分の家にいる時に幸せであり、木星は精神性や教育、宗教なども表わすため、小さい頃から、彼は家庭で宗教的教育の雰囲気の中で育ち、彼の母親も教育的で、それらの影響で、彼自身も宣教師、伝道師になったのではないかと推測できます。4室はアシュラムを表わすため、彼の活動場所は教会であり、そこで、彼は人に教える活動を常に行っている印象です。

さらに10室を見ると、5室支配の月と9室支配の火星が4室にアスペクトしているため、彼は教会において、常に人に見られるような一段高い場所にて演説を行ったり、注目を浴びる大舞台に常に立つことが分かります。10室月は人気を表わすため、彼は大衆的な人気があり、また月と火星が接合しているため、彼はハイテンションで、大衆に向かっての演説も、命令口調であったり、いわば司令官のような印象かもしれません。

このようにラグナロードの状態、後に述べますが、ラグナロードのPAC（ポジション-アスペクト-コンジャンクション）を調べることは重要です。その人物の本質的な人生の活動領域が分かります。

ピリーグラハムの場合、自分のアシュラムである教会と、マディソンスクエアガーデンなどの公的な広場や大ホールでの演説やスピーチが上手く相乗効果で影響し合っています。

自分のアシュラム内（プライベート、家庭）での活動と、公の舞台（仕事場）での活動が人生の中心的な活動領域です。

それで彼の本質は自分のアシュラムを持つ、霊的教師だと言うことが分かります。これはラグナロードの木星が4室に在住していることから導き出されます。